

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 岡本 巧  
幹事 神野 公秀  
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手の中に  
(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

## 第2646回例会プログラム

[当年度 = 6 回目; 当月 = 5 週目]

2009年 (平成21年) 8月31日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点 鐘 ……〈会 長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱  
……………手に手つないで  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食 事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 幹事報告  
9. 出席報告  
10. 委員会報告  
11. ニコニコボックス報告  
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(9/7) ……卓話  
講師 落合 夕子 様  
(紹介者 南 健 会員)  
(9/14) ……新入会員アワー 萩田 繁 会員  
" 木村 和司 会員
- 13:00 13. 本日のプログラム  
新入会員アワー  
下谷 敏朗 会員  
關 淳之 会員
14. 謝 辞  
15. 点 鐘 ……〈会 長〉  
16. 閉会宣言
- 13:30 17. 散 会

## ビ ジ タ ー

藤田 定 様 (中部名古屋みらい RC)  
近藤 一幸 様 (知立 RC)

## 出 席

会員総数 94名 出席免除 23名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名  
欠席 8名 出席率 90.80%  
前々回 (8/3) の修正出席率 100%

## 会 長 報 告

- 1) 8月26日に開催された刈谷市共同募金委員会に  
鈴木豊社会奉仕委員長に出席していただきました。

## 幹 事 報 告

- 1) 9月のロータリーレートは引き続き94円です。  
財団へのご寄付をよろしくお願いいたします。  
2) 本日、例会終了後に第3回の理事会を開催致  
します。関係の皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

## 委 員 会 報 告

## ●国際奉仕委員会

- 1) 地区より、台湾の台風災害と兵庫県西・北部豪  
雨災害に対して義援金の依頼が来ています。両方  
あわせて、千円のご協力をぜひお願い致します。

## 会長あいさつ

岡本 巧



ニコボックスを全部読んでいただくために会長あいさつは短めにします。

今回は牛の標準的生産体系についてしゃべらせていただきます。

### 牛の標準的生産体系

牛は、品種・性別に肥育方法が異なる。ここに示したものは代表的なモデルであり、肥育目的が肉質を重視する場合と増体（重量）を重視する場合は、肥育期間も異なる。特に黒毛和種については、血統タイプ（肉質系と増体系）によっても異なる。

黒毛和種去勢	30ヶ月	760kg
黒毛和種雌	30ヶ月	720kg
交雑種去勢	26ヶ月	800kg
交雑種雌	26ヶ月	750kg
乳用種去勢	21ヶ月	800kg

## 新入会員アワー

下谷 敏朗 会員



自分自身サッカーが大好きでまだまだ現役の52歳の青年ですので、今日はサッカーの話をさせていただきます。最初にFC刈谷の話をさせていただきます。先週の土曜日天皇杯の愛知県代表決定戦で愛知学院と戦い、かろうじて2対1で勝ち、見事

愛知県代表に選ばれました。次は長野代表とあたりますが、ここに勝てばJ1の浦和レッズと戦うことができます。とここまではFC刈谷もそこそこ強いという印象が感じられるでしょうが、実はリーグ戦では大変なことが起きてまして前期の途中から10連敗をしてしまい、現在2勝7分け15敗という最悪の成績で、18チーム中17位と低迷しております。ルールを説明しますとJFLというカテゴリーの中で全国18チームでホームアンドアウェー方式で戦っています。Jリーグ（J1、J2）のすぐ下のカテゴリーです。この中には企業チーム、大学チーム、Jリーグを目指すチーム、地域のアマチュアチームといういろんな形でJFLに加盟しています。刈谷は今刈谷市民クラブとしてアマチュアチームですけど個々の選手はプロ選手になりたいと、そしてJで活躍したいという夢を持っています。今年で4年目を迎えますが、18チーム中17位です。このまま行きますとJFLから地域リーグに降格する恐れも。成績不振の原因はいろいろあるのですが、今年は選手登録者が少ないことと、途中からけが人が数名出てチームバランスが崩れてしまったことが挙げられます。しかし浮気監督以下選手たちはよく頑張っ

ています。10連敗するとたいてい選手も腐んですけど、このFC刈谷は本当に毎回いい試合をします。去年8位だったプライドに掛けて頑張っているんですけどただ結果が出ない。しかしここに来て天皇杯で2連勝しましたので後期残りの試合は大変期待が持てます。ここ4試合で2勝2分けです。

そもそもこんなチームをサポートするきっかけとなったのは、商工会議所青年部で2年前、会長のとき町づくりの事業でFC刈谷を応援しようという考えで選手との交流、食事会、スタジアム観戦などの事業を行ってきました。その流れからFC刈谷の事務局が人手が少なく大変な状況であることを知り、去年からこの運営母体かえるスポーツクラブに副会長という肩書きで神野君と2人でお手伝いする事になりました。いざ入ってみると試合の運営打合せ、資金調達、選手雇用、イベント企画、グッズの作成、ボランティアとの打合せ等々たくさんの出来事が待ち構えていました。選手も大変ですけどこちらも大変で、隔週ごとのホーム試合の当日設営、その週の月曜日には駅前でチラシ配り、毎週月曜の3時半からスタッフ会議を行いお昼はロータリー夕方FC刈谷で終わります。でもやはり選手たちはもっと大変で昼は仕事、夜は7時から9時まで練習。土日は試合で休めるのは月曜の夜だけです。グラウンドもデンソー池田グラウンドを基本的にホームグラウンドとして夜練習していますが、グラウンドが使えないときは公園の空き地でやっています。他のチームと比べると決していい環境ではなくよく頑張っていると思います。私もサッカーやってきましたし今もシニアリーグでボールを追いかけていますので、そんな彼らを世話をしたくなるのは当然です。家内も世話をするのが好きでコンビニの弁当よりもと思ってたまに数名の選手と夕食を一緒にするんですけどそのたびにお櫃が空になっていました。

アマラオというコーチがFC刈谷にいますが、彼は昔J1のFC東京で活躍し今でも東京のサポーターからキングオブ東京といわれています。その彼が7月から選手に復帰しました。42歳というサッカー選手としては超高齢ですが残り10分で出てきますが、すごくうまいです。先日シニアの試合にFCイーストウッドの試合に選手として出てくれました。現在8チーム中7位ですが、彼のハットトリックなどで勝ちましたので6位です。この調子でFC刈谷の救世主となってもらいたいものです。

私自身、サッカーが好きでFC刈谷が好きなので何とかしてあげたいのですが、とりあえず今を頑張るしかないです。組織運営のお手伝いと選手の世話をすること。そしてシニアリーグでイーストウッドの優勝目指して頑張ること。

最後にFC刈谷の試合がホームであと5試合あります。もし観戦して応援していただけると大変うれしく思います。ご清聴ありがとうございました。

## 関 淳之 会員



4月20日に入会させていただきました関淳之です。正式には旧字体の『関』を使用しますから苗字が読めない名前の『淳之』も『あつゆき』、『じゅんゆき』、『じゅんのすけ』等々様々な読み方をされ学生時代は最初の授業の出席確認の時に一度も正しい名前を呼んでもらえませんでした。簡単に自己紹介をさせていただきます。昭和43年4月25日生まれの41歳です。生まれも育ちも刈谷です。趣味は1960年代から70年代の車が好きで現在、自分と同じ年のアルファロメオ1300GTJを所有しています。もうひとつの趣味は40歳になった時から始めた筋トレで毎日ジムに通って健康管理に気を使っています。今年の今頃は体重72キロ、ウエスト90センチ以上、体脂肪率24パーセント、高血圧で降圧剤を服用と見事なメタボでしたが現在は、体重57キロ、ウエスト73センチ、体脂肪率11パーセントと細マッチョになり腹筋も割れつつあります。家族は訳有りまして現在独身ですので誰かいい人がいたら是非ご紹介をいただけないでしょうか。

さて、私の家業は祖父の代から司町で建設業を営んでおります。もともとは、祖父が阿久比から刈谷に越してきて市原港で砂の荷下ろしを行っていたのが始まりです。その後、高度成長期の流れに乗って建設業として現在に至っております。今年の11月の設立60年を機に二代目である父から家業を引き継ぎ三代目として現在に至っております。このような会に入会させて頂けたのも祖父のおかげですし父のおかげだと思い非常に感謝しています。しかし、ほんの数年前までは父への感謝などほとんど無くてあたり前でしたが2年前のクリスマスにサンタクロスから素晴らしいプレゼントを頂いた事により親の大切さを知ることが出来ました。そのプレゼントと言うのは父が脳梗塞で倒れたことです。何で父親が病気で倒れたことがプレゼントかと思いでしょうが、『なくなって初めて分かる親と金』と言うように亡くなってはいないものの体の自由が利かない父を見ると自分がしっかりしないといけないなと思うこの頃です。いままで、感謝の気持ちが有りませんでした。この時から親の大切さを感じました。体が不自由になり人前を出るのを嫌がり車椅子の生活になってから、あの時もう少し素直に父の言うことを聴けていればと後悔することが山のようにあります。病気になってから家族の結束も強くなったと思います。

さて、私の従事する建設業は子供の頃は建設重機大好きでも大人になったら成りたくない職業No. 1にあげられるくらいです。犯罪が起こるとたいてい容疑者は『建設作業員』と報道されます。今でも子供の戦隊ヒーローものでも重機を使ったものもありますし、おもちゃ屋には重機のおもちゃが沢山売っています。そして、工事現場では、母親に連れられてと言うより母親を連れて一時間以上重機に見とれている子供もいます。このよう

に魅力的な職業なのに、就職の面接時に『なぜ、大学の土木科に入学したのですか』と質問をされると『行ける学部が無かったから』と悲しい返事を聞きます。大学側に至っては不人気学部なので『システム工学科』などと言う建設業とは一見分からないような学部名になっています。普段は厄介者で災害が起きて出動しないと非難轟々です。炎天下の中や極寒の中、文句も言わずに黙々と仕事をしている作業員を見るとどこか誇らしげに成りますが、世の中の対応には悲しいものがあります。しかし、建設業は非常に素晴らしい業種だと思います。当社の主体業務は土木です。土木の基本は治山治水です。現在では社会基盤もほぼ出来上がっていますが、ゲリラ豪雨等の災害が増えているのも事実です。安心して生活できるのも日々の公共工事によって確保されていると思います。工事で道路が渋滞していてもより良い生活を確保する為なので道路工事へのご理解とご協力をお願いします。